JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

初期臨床研修
GUIDEBOOK



社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院

理　念

── VALUE ──　「仁」・・・愛と思いやりの医療を提供します

── MISSION ──　安全で質の高い医療・誠実で信頼される医療
連携に基づくチーム医療・地域包括ケアシステムの構築

── VISION ──　急性期から在宅まで地域で安心して暮らせる医療に貢献します
患者さんより信頼の得られる病院を目指します

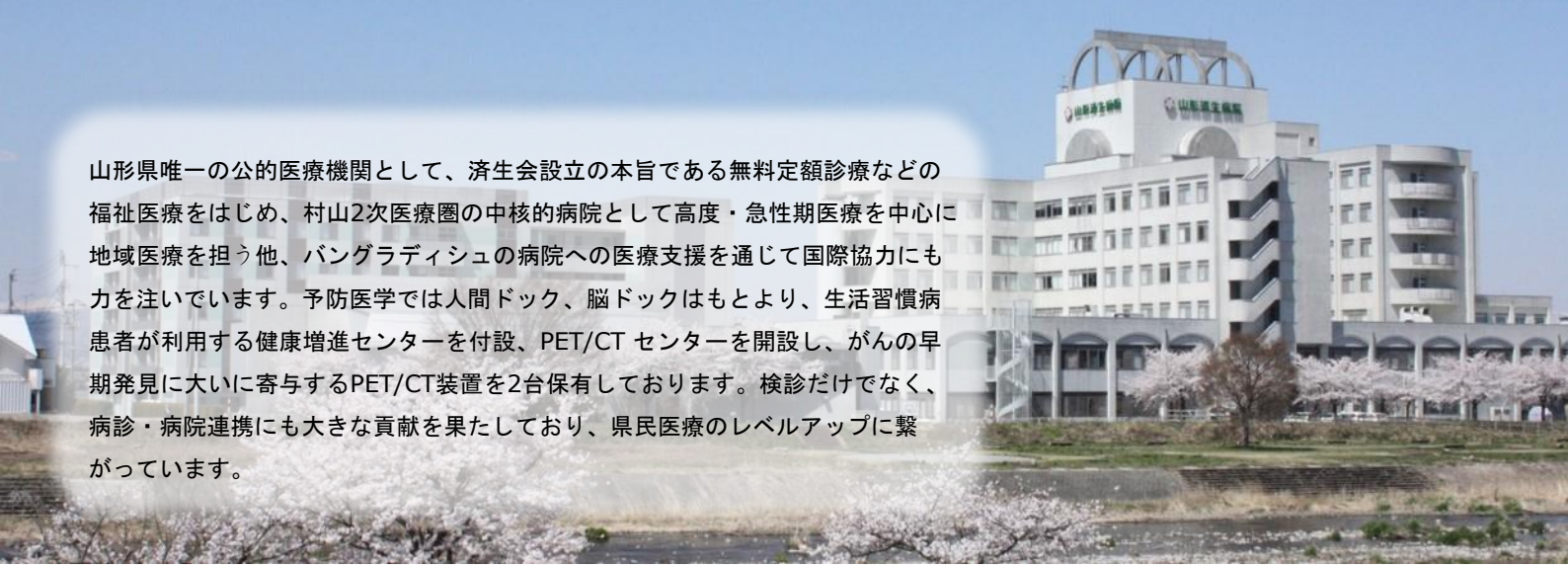
社会福祉法人恩賜財団 済生会山形済生病院

初期臨床研修医を目指す皆さんへ



済生会山形済生病院　副院長
臨床研修プログラム責任者
福島　重宣

昨今の医療は超高齢化、少子化、認知症対策と、急性期のみの研修では不十分になっています。当院の特徴は急性期医療を中心に地域包括ケア病棟、回復期病棟を運営し、今後の医療の変化に対応しております。
急性期では日本屈指の手術件数を持つ整形外科・Varix治療の血管外科、また、東北屈指のお産件数の産婦人科が活躍しております。さらに100人近くのスタッフを抱えるリハビリテーション部を持ち、内科・整形外科・脳神経外科ばかりでなく産婦人科、NICUと多岐にわたる活動を行っております。
2006年より、研修医の公募を始め、基幹型・協力型を含めると、87名もの研修医がたくましく成長する姿を見てきております。病院の規模としては大きくありませんが、家庭的な雰囲気の中で多くのことを学ばれています。全国組織の済生会病院のスケールメリットを生かし、小樽・水戸・宇都宮済生病院での地域医療研修も行っており、一つの病院の考え方にかたまらず多くのことが吸収できます。中規模病院のメリットを生かし指導医とのマンツーマン指導体制のなか、充実した研修生活と成果が得られると確信しております。



山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料定額診療などの福祉医療をはじめ、村山2次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担う他、バングラディシュの病院への医療支援を通じて国際協力にも力を注いでいます。予防医学では人間ドック、脳ドックはもとより、生活習慣病患者が利用する健康増進センターを付設、PET/CT センターを開設し、がんの早期発見に大いに寄与するPET/CT装置を2台保有しております。検診だけでなく、病診・病院連携にも大きな貢献を果たしており、県民医療のレベルアップに繋がっています。

病院概要

所在地	山形県山形市沖町79番1
病院長	石井　政次
病床数	473床
医師数	67名
診療科目	整形外科、内科（循環器・呼吸器・消化器・神経・糖尿病/内分泌・腎臓/透析)、産婦人科、外科・乳腺外科、小児科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、リウマチ、リハビリ
救急医療	救急告示病院(第2次救急)
災害医療	災害拠点病院指定
教育指定	済生会東北・北海道ブロック災害基幹病院 臨床研修指定病院(基幹型) 臨床研修指定病院(協力型) 臨床修練指定病院(外国人医師)
関連施設	済生会山形訪問看護ステーション 介護老人保健施設フローラさいせい 特別養護老人ホーム　愛日荘 特別養護老人ホーム　やまのべ荘 特別養護老人ホーム　ながまち荘 特別養護老人ホーム　山静寿 養護（盲）老人ホーム　山静寿 はやぶさ保育園
その他	病院機能評価認定 3rdG:ver2.0 労働者健康保持増進サービス機関 人間ドック健診施設認定(日本人間ドック学会) 卒後臨床研修評価認定 (NPO法人卒後臨床研修評価機構)(平成30年現在)

公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院 認定第 GB127-4 号

JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

施設認定

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本感染症学会認定研修施設
- 日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本神経学会専門医制度准教育施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本肥満学会認定肥満症専門病院
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会認定教育関連施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度(周産期新生児専門医)暫定研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本乳癌学会認定医専門医制度認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本手外科学会認定手外科専門医制度認定研修施設
- 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
- 日本脳ドック学会認定脳ドック施設
- 一次脳卒中センター（PSC）
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度(周産期母体・胎児専門医)暫定研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ステントグラフト実施施設（腹部大動脈瘤）
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関(放射線診断・IVR部門・核医学部門)
- 日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- 外国医師臨床修練指定病院
- 日本高気圧環境・潜水医学会認定病院
- 日本人間ドック健診施設
- 日本人間ドック健診専門医研修施設
- 日本東洋医学会研修施設

済生会とは…

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44年に設立しました。
100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の3つの目標を掲げ日本最大の社会福祉法人として全職員約59,000人が、40都道府県で医療・保健・社会福祉活動を展開しています。

◆生活困窮者を**済**（すく）う
◆医療で地域の**生**（いのち）を守る
◆医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇……悩むすべてのいのちの虹になりたい。
済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

済生会創立の理念を礎に、
すべての人に等しく保健・医療福祉を提供。

社 会 福 祉

◆生活困窮者支援事業（なでしこプラン）
無料定額診療事業による対象者のみならず、刑余者、障がい者、高齢者等の社会的弱者の方に対し、保健・医療・福祉以外にも、就労、住まい、教育等を支援しています。

◆無料定額診療事業
県内唯一の社会福祉法人病院として、社会福祉法に基づき、経済的な理由で適切な医療が受けられない方に、無料または低額で医療を提供しています。

◆地域における公的な取組
地域サロンにおける活動場所の提供や運営支援、地域が抱える課題解決の調整を通じ、地域包括ケアシステムの深化・地域共生社会の実現に貢献しています。

予 防 医 療

◆検診センター
人間ドック、脳ドックなど、受信者ニーズに合わせた検査項目の取り揃え、受信者の生活習慣病の予防と病気の早期発見、また、保健指導も組み込み、健康に対する意識付けと健康増進に努めています。

◆健康増進センターめぐみ
メディカルチェックなどの結果に基づいて、医師による運動処方のもと、健康運動指導士による個別運動プログラムの提供、運動療法の実践を行う施設です。

国 際 貢 献

バングラディシュの首都ダッカには「山形ダッカ友好病院」があり、当院はその後援事務局として活動しています。現在は、現地訪問による支援やバングラディシュの方に当院に来てもらい医療技術の提供や育成支援などを行っています。



災 害 支 援

村山地域圏内の地域災害医療センター、災害拠点病院として指定を受けており、地震・津波・台風・噴火等の災害発生時には災害医療を行う医療機関を支援する病院となります。また、DMAT(災害派遣医療チーム)も設置されており、東日本大震災や北海道胆振東部地震の際は現地で医療活動を行いました。



東日本大震災では、当院が済生会の現地連絡事務所となり救援活動を行いました。

保健・医療・福祉の連携

山形県済生会では山形済生病院を中心に、訪問看護ステーション、認可保育所、特別養護老人ホーム、養護（盲）老人ホーム、介護老人保健施設を設置運営しています。
施設間では相互連携を図り、各地で地域の患者さんや利用者の方々にきめ細やかな総合的なサービスを提供するべく、日夜努力しています。2018年1月にオープンした山形済生病院南館は、山形県済生会地域ネットワークの象徴的な建物となっております。



診療DATA（令和2年度実績）

1日平均入院患者数	347.7人	1日平均救急車受入患者数	4.6人
1日平均外来患者数	670.9人	年間手術件数	3,715件

研 修 医 募 集 要 項

－研修応募手続き・選考方法－

◆ 募 集 人 数　1学年5名
◆ 応 募 資 格　医師国家試験合格者および医師国家試験受験予定者
◆ 選 考 方 法　書類審査・小論文・面接（小論文のテーマは事前にお知らせします）
◆ 試　験　日　病院ホームページをご確認ください。
◆ 応 募 締 切　試験日の1週間前まで
（定員に達するまで随時募集。担当者へご連絡ください）

【申込方法】

◆ 提 出 書 類　履歴書・健康診断書・成績証明書・卒業見込証明書
（履歴書・健康診断書はホームページよりダウンロードできます。http://www.ameria.org/）

◆ 書類送付・問合せ先　〒990-8545　山形県山形市沖町79-1
済生会山形済生病院　人事課(加藤・足立)
TEL：023-682-1111㈹　E-mail：rin-ken@ameria.org

－ 研 修 医 処 遇 －

◆ 身　　分 ：　正 職 員
◆ 給　　与 ：　1年次　月額約450,000円　賞与（6月）200,000円　（12月）400,000円
◆年収見込600万円程度
2年次　月額約520,000円　賞与（6月）200,000円　（12月）400,000円
◆年収見込690万円程度
◆ 勤 務 時 間 ：　平日8：45～17：00
◆ 休　　日 ：　土日祝日、年末年始（12/29～1/3）創立記念日（10/15）
◆ 有 給 休 暇 ：　1年目10日・2年目12日、リフレッシュ休暇3日、その他傷病休暇および特別休暇
◆ 時 間 外 手 当 ：　有
◆ 当　　直 ：　週1回程度
◆ 宿　　舎 ：　ドミトリー済生（病院敷地内）、月30,000円（下水道料込）、駐車場完備
◆ そ の 他 ：　健康保険、雇用保険、厚生年金保険、労災保険、医師賠償保険、
健康診断(年2回)、学会参加(助成有)

ー 病院見学のご案内 ー

見　学　内　容

◆研修プログラム概要説明
◆希望診療科見学（事前に見学希望科をお知らせください）
◆研修医との昼食会（昼食は当院で用意します）
◆指導医・研修医との懇親会

※遠方よりお越しの方、宿泊が必要な方はご相談ください。

見学申込み先：人事課(加藤・足立)　TEL：023-682-1111㈹　E-mail：rin-ken@ameria.org
※ホームページの「初期研修」→「医学生病院見学」からもお申込みいただけます。

研修プログラムの特徴・内容

研修プログラムの基本理念･方針

当院の理念、基本方針の下、医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず医学・医療の社会的ニーズと医療チームの一員であることを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を習得すると同時に、医療安全への配慮を身につけることを目的とし、2年間の研修は、必修分野は内科・外科・小児科・産婦人科・精神科及び地域医療とし、研修期間は、内科24週以上、救急部門12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療は4週以上で救急部門は1年次、地域医療は2年次に研修を行う事とし、一般外来研修は、ブロック研修または並行研修により4週以上の研修を行うプログラムとしました。

そのため各診療科ローテート中に、

①将来の専門性に関わらず、すべての医師に求められる各科の初期診療を行うための臨床的技能を習得する事。
②患者の問題を医学的のみならず、心理的・社会的側面からも捉え、患者・家族と良好な人間関係を確立したうえで、医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うため努力をする態度を身につける。
③他の医師および医療メンバーと協調して診療を行う習慣を身につけること。
④医療安全への配慮を常に怠らないこと。

を目標とします。

これまでの研修医受入実績

	基幹型	協力型
H２９年度	3	2
Ｈ３０年度	4	1
Ｈ３１年度	2	1
Ｒ２年度	5	1
Ｒ３年度	1	0

研修医の主な出身大学

山形大学・獨協医科大学・岩手医科大学・福島県立医科大学・新潟大学・北里大学等

研修医勉強会･学会発表

研修医勉強会は、縫合手技トレーニングや腰椎穿刺など研修医の希望に合わせ週1回開催しています。
また、学会発表の機会や論文作成などアカデミックな面での指導も含め充実しており、地方会・研究会から全国学会での発表・参加もありキャリア向上にも繋がります。

－学会発表－

・第80回日本臨床外科学会
〜胆嚢癌との鑑別が困難であった大腸癌胆嚢転移の1例〜

・第55回日本脳神経外科学会東北支部会
〜頭部外傷後の両側後頭蓋窩性硬膜下血腫に片側ドレナージ術が有効であった1例〜

・第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会
〜ACL・PCL温存型TKA術後の前方不安定性について〜

・第65回北日本産婦人科学会
〜トラベクテジン血管外漏出による皮膚障害を来した子宮平滑筋肉腫の1例〜

・第42回日本脳卒中学会学術集会
〜脳梗塞に起因したParoxysmel Sympathetic HyperactivityにITBが有効であった1例〜

・第41回日本整形外科スポーツ医学会学術集会
〜Vリーグバレーボール選手に発症した骨髄炎の1例〜

・第108回日本呼吸器学会東北地方会
〜自然退縮を認めた、多発血管炎性肉芽腫症(GPA)の1例〜

・第130回山形県産婦人科集談会
〜妊娠34週妊娠高血圧腎症重症搬送の1例
(研修医の立場から振り返って考えさせられたこと)〜

など

基本プログラム

必修分野は内科24週以上、救急部門12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、及び地域医療4週以上で救急は1年次、地域は2年次に研修を行います。
1年ごとにプログラムを組み、2年次の選択科では将来の進路に応じた研修プログラムが可能となっています。
全11ある協力病院(施設)から選択し、より専門性の高い研修が行えます。

<table>
<tr><th></th><th>４月</th><th>5月</th><th>６月</th><th>７月</th><th>８月</th><th>９月</th><th>１０月</th><th>１１月</th><th>１２月</th><th>１月</th><th>２月</th><th>３月</th></tr>
<tr><td>１年次</td><td colspan="3">選択研修</td><td colspan="3">救急部門</td><td>外科</td><td>小児科</td><td>産婦人科</td><td colspan="3">内科</td></tr>
<tr><td>２年次</td><td colspan="3">内科</td><td>地域</td><td>精神科</td><td colspan="6">選択研修</td></tr>
</table>

＊1年次の2週間はオリエンテーションにあてる ＊ローテーションは順不同
＊研修スケジュールは、それぞれの希望を踏まえて決定します。

プログラムの特徴

マンツーマンの指導体制

当院は研修が円滑に行われるよう、1名の研修医に対し1名の指導医が担当するマンツーマン形式をとっています。また、研修医各々に対し主任指導医（メンター）を置き、プログラムの進行状況や研修内容等についてフォローしていきます。

自由度の高い研修プログラム・資格取得支援

プログラム内容は、希望をとり1年ごとに決定していきます。そのため将来の専門性を見据えたスケジュール設定ができます。また、1年次からBLS・ITLS・ACLS・JPTECなどの救急資格を取得でき受講料など資格取得に関わる費用は病院が負担します。

日当直・指導体制

当院は上級医が後輩医を指導する屋根瓦方式を採用しています。研修医1年次を2年次が、さらにそれを専攻医、そして指導医が指導していきます。
日当直は月5回（平日当直4回、日曜日直1回）の当直業務を経験し、全診療科にわたり救急患者に関する知識・技術を習得していきます。基本的に1年次は2年次または上級医と共に診療を行い、単独での診療は行いません。研修医専用の当直室があり、当直明けは原則午後休みとなります。

-主な研修医勉強会テーマ-





・縫合手技トレーニング
・輸液勉強会
・CVC穿刺挿入トレーニング
・フィジカルアセスメントトレーニング
・救急外来における脊椎画像診断のピットホール
・痛みに対する最新知見と治療
・サイエンス漢方処方について
・腹部エコー検査の実際
・おさえておきたい包帯・テープ・ギプスの使用法
・抗菌薬の使い方
・小児科の救急対応について
・救急外来における胸・腹部エコー検査、JATECによる診療の流れ
・健康診断について
・心エコーの実際　　など

研修医からのメッセージ

01 明るい雰囲気が魅力だと思います



医師として最初の一歩を踏み出すことになった4月は、正直不安がとても大きかったです。しかし実際働き始めてみると、熱心な指導医の先生方や優しいコメディカルの方々にたくさん助けていただき、楽しく仕事をすることが出来ています。当院は研修医の数が多すぎないので手技をたくさん経験することができますし、さらにそれを指導医の先生にマンツーマンで指導していただけることは魅力の1つだと思います。また、私が印象的だなと思ったのは職員の皆さんがとても楽しそうに働いていて、病院全体の雰囲気が明るく、悩みがあったときにすぐ相談できる環境というのは研修をしていく上で実は一番大切なことではないかと思います。実際に見ていただくことでより当院で研修することの魅力やビジョンがはっきりすると思うので、ぜひ一度見学にいらしてください！

山形大学出身
初期研修2年次　阿部　梓

	1~2	3~7	8~12	13~16	17~20	21~24	25~28	29~32	33~36	37~40	41~44	45~48	49~52
1年目	オリエンテーション	腎臓内科			脳神経外科			精神科	小児科	産婦人科	内科(必修科)		
2年目	内科(必修科)				皮膚科		地域医療	麻酔科	泌尿器科		皮膚科		脳神経外科

02 学びの多い研修医生活

働きはじめて初めの一カ月は慣れないことも多くあり、戸惑うことばかりでしたが、同時に新鮮で、自分が医師として働き始めたのだな、と思える日々でした。研修の中では、実際に自分がやらせてもらえることも多く、そこで初めて湧いてくる疑問や悩みもあり、先生方が何を考えて、患者さんの治療を行っているのか、学生のころとは大きく学べることの幅が違うことに気がつきました。治療の面だけでなく、患者さんの背景について考えたり、学生のころは行えなかった手技も行わせていただき、慣れないながらも少しずつ成長できているのが実感できています。また、外来・病棟でも多くのコメディカルの方々が力強く支えてくださることも心の支えとなっています。まだ初期研修が始まったばかりで疑問点や学ぶことは多くあり、学びの多い充実した二年間の研修を送ることができると思います。



山形大学出身
初期研修2年次
中島弘貴

	1~2	3~7	8~12	13~16	17~20	21~24	25~28	29~32	33~36	37~40	41~44	45~48	49~52
1年目	オリエンテーション	脳神経外科		小児科	産婦人科	精神科	泌尿器科	循環器内科	糖尿病内科	神経内科	内科(必修科)		
2年目	内科(必修科)				放射線科	地域医療	救急科	腎臓内科	循環器内科	脳神経外科	呼吸器内科	腎臓内科	

03 命に向き合う日々



医師免許取得後、6年遅れての研修となりましたが、先生方には基本的な知識から丁寧に教えていただいています。色々とお気遣いいただき、ありがたく感じているところです。
真面目で優しい同期・先輩方に囲まれ、医療現場に身を置いている現状は、胸に迫るものがあります。
基本的な疾患には対応できる医師になることを研修の目標にしています。
先生方のご指導を受けながら、一歩一歩進んでいければと考えています。

福島県立医科大学出身
初期研修2年次　工藤豪紘

	1~2	3~7	8~12	13~16	17~20	21~24	25~28	29~32	33~36	37~40	41~44	45~48	49~52
1年目	オリエンテーション	外科			精神科	産婦人科	小児科	糖尿病内科	呼吸器内科	腎臓内科	内科(必修科)		
2年目	内科(必修科)				呼吸器内科	地域医療	呼吸器内科			腎臓内科		麻酔科	呼吸器内科

04 恵まれた環境での研修



年度の途中から当院で研修をさせていただいていますが、一番印象に残っていることは、病院の雰囲気が明るく、優しくて頼りになる医療スタッフの方々に囲まれて研修ができるところです。
研修では失敗することも多々ありたくさん迷惑をかけてしまいますが、それでも先生方やコメディカルの方々が優しくフィードバックをして下さるので、少しずつではありますが成長を実感することが出来ています。
同期や先輩の研修医の先生方も互いに信頼しており、明るい雰囲気の中で支え合って研修ができることも、1つのおおきな特徴です。
医師としての第一歩を踏み出すのに、当院は本当に最適な病院であると思っています。当院で研修することで2年間の初期研修が充実したものになると確信しています。

岩手医科大学出身
初期研修２年次　瀧野　貴浩

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目											脳神経外科	消化器内科
2年目	脳神経外科	産婦人科	小児科	精神科	泌尿器科	糖尿病内科	地域医療	内科(必修科)			呼吸器内科	未定

05 研修医として様々な経験が得られます

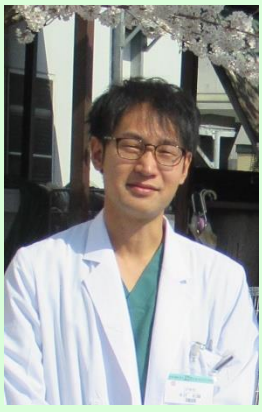
研修を始めた頃は慣れないことも多かったですが、職場の雰囲気が良く、先生方を始めコメディカルやスタッフの皆様に助けて頂きながら、日々頑張っています。指導医の先生からは、医師にとって必要なスキルや手技を丁寧に教えて頂く機会が多く、実りの多い研修ができています。時には失敗することもありますが、先生方に温かく見守られながら、医師として経験を積んでいっているところです。研修医の数は多くはないですが、研修医同士で教えあうことも多く、和気あいあいとしていて雰囲気が良いです。そして何より、困った時に様々な先生やスタッフが相談に乗って下さる環境というのは、医師として働き始めたばかりの研修医にとって一番大事なことだと思います。研修する環境としては良い病院だと思いますので、是非見学にいらしてください！



岩手医科大学出身
初期研修２年次　瀧野　温子

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目											外科	脳神経外科
2年目	小児科	精神科	産婦人科	麻酔科	呼吸器内科	地域医療	内科(必修科)				未定	未定

06 やる気次第



初めまして。研修医1年目の本荘和輝です。
研修が始まり一ヶ月強が経ちました。まだまだ出来ないことだらけで日々新たな疑問や課題に出くわし必死に過ごしております。しかし日々成長を実感でき充実した研修生活を送っています。
済生病院は研修医の数は多くありませんし、いわゆるハイパーと呼ばれる病院でもありません。しかしその分多くの上級医の指導の元、しっかり患者や医療と向き合えます。自分で積極的、主体的に動くことで、学べる幅はどんどん広げていける環境だと感じています。また研修医数の関係からプログラムも自由度が高く、後からの変更・融通も効きやすいです。ライフワークバランスを考えてる方にはとても良いのではないでしょうか。
興味のある方は是非山形済生病院へ一度いらして下さい。皆さんと一緒に研修出来ることを心待ちにしております。

山形大学出身
初期研修1年次　本荘　和輝

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	消化器内科			脳神経外科			泌尿器科	精神科	小児科	産婦人科	内科	
2年目	未定											

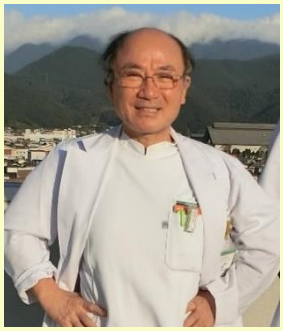
指導医・卒業生よりメッセージ



外科・乳腺外科
医長　藤本　博人

山形済生病院は473床で、地域に密着した中核病院です。様々な疾患を取り扱っており、一般的な医療はほとんど経験することが出来ます。また、スタッフ、医師、研修医同士の雰囲気も良く、のびのびとした環境で研修することが出来ます。
外科・乳腺外科で取り扱う疾患は、消化器外科領域（食道から直腸、肛門までの消化管と肝胆膵疾患）および、一般外科領域（乳腺、甲状腺、鼠径ヘルニアなど）の疾患です。施設としても、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医専門医制度認定施設として認定されており、様々な外科の専門医をとることも可能です。また、腹腔鏡手術にも力を入れており、内視鏡外科認定医２名体制で手術を行っています。手術件数としてはハイボリュームセンター程ではありませんが、基本的に研修医一人体制で研修することができ、一人当たりの経験数は決して劣るものではありません。
一緒に頑張ってくれる若者は大歓迎です。ぜひ、当院での研修を検討してください。

当院産婦人科の特徴は、NICU(新生児特定集中治療室)と連携しての周産期センターの運営です。妊娠分娩にとって最も肝心なことは、母体と胎児の生命の安全です。このため、当院では産婦人科医師はもちろん新生児科医師も常時当直し、24時間体制で分娩を監視し、母体と新生児にとって最も安全で安心な病院を目指しています。また緊急事態を想定したシミュレーションを実地し、スタッフの教育と訓練を行なっております。分娩数は過去十数年常に県内一位であり、多くの分娩を扱っています。ハイリスク妊婦などの母体搬送依頼は原則として断ることはなく、県内全域から受け入れています。このようなことから、当院は日本周産期新生児医学会の基幹施設、地域周産期母子医療センターに指定されています。多くの母体搬送症例がありますので、緊急母体搬送症例がどのように診察、診断され、また場合により緊急手術となり、続いて新生児がNICUでどの様に加療されるのか、という一連の救急処置の流れを勉強していただきたいと考えております。また当院は、扱う分娩が多いので、その日の条件にもよりますが、経膣分娩（自然分娩、吸引分娩）、帝王切開分娩に参加する機会も多いものと考えています。さらに、婦人科の手術数も多いため、婦人科疾患の手術参加も多数できるものと考えています。



特任副院長・周産期センター長
産婦人科　阪西通夫



糖尿病内科　杉山琢真
（H28年獨協医科大学卒業）

山形済生病院で初期研修を修了した杉山琢真と申します。
より大規模な病院で内科の後期研修中の今、済生病院での初期研修という選択が正しかったと実感できる充実した日々を送っています。
済生病院は研修医1人当たりの症例数が確保されている上、ベテランで人望の厚い先生方に師事することができます。初期研修は何事　も貴重な学びの機会と捉えて、専攻科の勉強と同等に他科の勉強も重視しなければなりません。初期研修中に外科系の症例も豊富に経験できたことが、診療の大きな糧になっています。救急外来においてはcommon diseaseを中心に多くの症例を経験し、研修医自ら診察・検査・治療を行いながら、その場で指導医のフィードバックを受けられる点が特徴です。
済生病院は各部門の繋がりが強く、良好なチームワークの中で研修医をサポートしてくださる土壌があります。アットホームな病院の雰囲気や環境は一朝一夕に築き上げられるものではなく、山形済生病院の長い歴史の中で先輩方が築いてこられた誇れる伝統です。
医師として研鑽を積みながら、人間性を磨くことのできる環境であったことに感謝しています。山形済生病院での研修をお勧めします。

山形済生病院で初期研修を終了した濱崎正康と申します。
本年4月から、山形済生病院の整形外科後期研修プログラムに参加させていただいております。山形済生病院での初期研修の特徴は、一人ひとりに行き届いた研修プログラムだと考えております。初期研修はさまざまな症例に触れ、そのひとつひとつに対して自ら考え、実行し、指導を受けるというサイクルが重要となります。症例に関しては十分に関わることができる数が確保されており、そのひとつひとつに対し入院から退院まで対応し、ベテランの先生方からマンツーマン、場合によっては１対多での指導を受ける機会があり、充実した研修生活が送ることができます。また各診療科の連携が容易で、相談がしやすいのも特徴です。救急外来においては、救急で来院した患者に対し、初診から治療し帰宅・紹介まで上級医の指導のもと行い、一般診療の基礎を学ぶことができます。
この病院で、指導医の先生方と細かく濃密な研修を送ることができました。後期研修でも初期研修での経験が非常に役立っていると実感しています。ぜひ、山形済生病院での研修を考えてみてください。



整形外科　濱崎正康
（H29年岩手医科大学卒業）

協力病院・施設一覧



山形大学医学部附属病院
〒990-9585山形市飯田西2-2-2



水戸済生会総合病院
〒311-4198
茨城県水戸市双葉台3-3-10



医療法人篠田好生会千歳篠田病院
〒990-0811山形市長町2-10-56



済生会岩泉病院
〒027-0501
岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字中家19-1



白鷹町立病院
〒992-0831白鷹町大字荒砥甲501



介護老人保健施設
フローラさいせい(山形済生病院内)



済生会小樽病院
〒047-0008北海道小樽市築港10-1



特別養護老人ホームながまち荘
〒990-0811山形市長町751番地



済生会宇都宮病院
〒321-0974
栃木県宇都宮市竹林町911-1



佐藤眼科医院銅町クリニック
〒990-0051 山形市銅町1-6-35

卒後進路

- 山形大学医学部　第一内科学講座
- 山形大学医学部　第一外科学講座
- 山形大学医学部　整形外科学講座
- 山形大学医学部　産婦人科学講座
- 山形大学医学部　脳神経外科学講座
- 山形大学医学部　麻酔科学講座
- 山形大学医学部　眼科学講座
- 山形大学医学部　放射線医学講座
- 山形大学医学部　精神医学講座
- 山形大学医学部　皮膚科学講座
- 済生会山形済生病院　内科
- 済生会山形済生病院　糖尿病内科
- 済生会山形済生病院　整形外科専門研修プログラム
- 山形県立中央病院　内科専門研修プログラム
- 札幌医科大学医学部　麻酔科学講座
- 釧路市立釧路総合病院　外科
- 東北大学病院　糖尿病内科
- 東北大学病院　精神科
- 福島県立医科大学医学部　器官制御外科学講座
- 群馬大学医学部　消化器内科
- 慶應義塾大学医学部　整形外科
- 東京医科歯科大学　糖尿・内分泌科
- 新葛飾病院
- 岡山大学医学部　整形外科

山形済生病院のココがスゴイ！＆各診療科の特徴

① 整形外科の手術件数、産婦人科のお産件数 県内トップクラス





整形外科・産婦人科は村山地区で入院患者数トップを占めています。人工関節の手術が非常に多く、人工股関節・人工膝関節ともに年間400件以上行われています。これは県内随一であるのみならず全国でも上位10施設に入る実績であり、関節外科医の修練の場にもなっています。また、NICUと連携した周産期センターがあり、ハイリスク妊婦などの母体搬送依頼は断ることなく、県内全域から受け入れ、年間800件近くの分娩を扱っています。

② 急性期から回復期まで一貫して取り組む チーム医療



急性期病院でありながら回復期リハビリ病棟・地域包括病棟を有する全国的にも稀有な病院として、多職種での連携を図りながら、患者さんごとにチームアプローチでの医療を提供しています。また、平成30年度からは介護老人保健施設も併設されており地域医療との結びつきも深く学ぶ事が可能です。

③ 県内最大規模の 総合リハビリテーション施設



県内最大規模のリハビリテーション施設を有し、脳卒中・整形外科疾患など高い専門性を持つスタッフが質の高いリハビリを提供しています。また医師と共同で全国的な臨床研究や学会発表などにも積極的に取り組んでいます。





④ 指導医とのマンツーマン指導体制

当院は研修医が少人数のため、一人ひとり手厚く指導し、手技も多く経験できます。また、指導医の診察法や外来テクニックなど細かいところまで指導していただきます。

⑤ 全国組織の済生会

済生会は、日本最大の社会福祉法人として40都道府県で医療・保健・福祉活動をしています。地域医療研修では、小樽や水戸、宇都宮など希望の診療科に合わせ研修することもできます。





整　形　外　科

県内で最も多い15名の整形外科医が在籍。
令和2年度の１日平均外来患者数は187.7人。
年間手術件数は1,716件行っています。

◆各専門領域の手術や患者の特徴

・股関節外科、膝関節外科

伝統的に人工関節の手術が非常に多く、人工股関節・人工膝関節ともに年間400件以上行われています。これは県内随一であるのみならず全国でも上位10施設に入る実績であり、関節外科医の修練の場にもなっています。

・脊椎外科

内視鏡手術を得意としており、２名の脊椎内視鏡下手術技術認定医が従来よりも小さい皮膚切開で脊椎手術を行っております。

・骨軟部腫瘍外科

平成３０年より専門診療を開始しました。一般の医師では判断の難しい皮下、筋肉、骨内の腫瘤に対し術前の画像検査、試験的組織採取検査、手術、病理診断まで一貫して行っています。

・手外科

手外科専門医が在籍し、手外科研修の基幹施設となっております。手や肘のけが、変形、痛みやしびれを伴う疾患を幅広く扱っており、他施設で判断や治療が困難な患者さんを多く引き受けています。

外　科　・　乳　腺　外　科

外科・乳腺外科で取り扱う疾患は、消化器外科領域（食道から直腸、肛門までの消化管と肝胆膵疾患）および一般外科領域（乳腺、甲状腺、鼠経ヘルニアなど）の疾患です。腹腔鏡手術が昨今広まっておりますが、学会から技術認定のお墨付きをいただいているのは山形県内で６人のみですが、その内２人が当院に勤務しています。
臨床研修医の指導に関しては、スタッフ全員が臨床研修指導医の資格を有しており、できる限り手術に参加し外科基本手技が習得出来るよう指導に当たっています。

脳　神　経　外　科

山形大学医学部脳神経外科と連携し、脳血管障害、頭部外傷、機能的脳神経外科、脳腫瘍などの一般的な脳神経外科の急性期治療を中心としながら、急性期から回復期・維持期へのリハビリテーションを含めた総合治療を行っています。
CT・MRI・脳血管撮影・脳血流検査ともに迅速に行える環境を整えており、脳卒中治療専門医が診察・治療を行っています。tPAおよび超急性期の血行再建を積極的に行える体制をとっており、外科治療では神経機能モニタリング、神経内視鏡、術中血管撮影などを駆使した、安全・確実な治療を目指しています。

産　婦　人　科

当院の産婦人科の特徴は、NICUと連携しての周産期センターの運営です。
産婦人科医氏はもちろん新生児医師も常時当直し、２４時間体制で分娩を監視し、母体と新生児にとって最も安全で安心な病院を目指しています。分娩件数は年間７００件近くの分娩を扱っており、ハイリスク妊婦などの母体搬送依頼は原則として断ることなく県内全域から受け入れています。このようなことから当院は日本周産期新生児医学会の基幹施設に指定されています。
産科疾患、婦人科疾患の手術件数は合わせて年間４２０件で、当院の特徴として、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術が多くあることです。
YAGレーザーとCO2レーザー装置も配備し、様々な手術に活用しています。

内　科

・消化器内科

急性・慢性期の消化器疾患、肝疾患、胆・膵疾患を中心に消化器患者全般の診療にあたっています。特に中規模急性期有床病院として機動力のある迅速な診療をひとつを特色とし、同時にＰＥＴ/ＣＴ、超音波内視鏡、拡大内視鏡、特殊光内視鏡、カプセル型小腸内視鏡など最新の医療機器を積極的に活用し判断の正確性を期しております。

・循環器内科

急性期から維持期の心臓リハビリテーションまでこなし、検査は運動負荷心電図・トレッドミル負荷心電図・Holter心電図・心臓超音波検査・頸動脈エコー・下肢動脈エコー・心臓核医学検査・心臓カテーテル検査で、主な実績は、経皮的冠動脈形成術・経皮的冠動脈ステント留置術・人工心臓ペースメーカー植込術など行っています。

・腎臓内科

検診で尿異常を指摘されて見つかるような腎炎、尿蛋白が多量に出て浮腫むネフローゼ症候群、腎臓の働きが弱くなる腎不全など腎疾患全般について診療を行っています。また長く続く熱や、関節や筋肉の痛みがでることの多い膠原病についても担当しています。

・神経内科

脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を内科的に治療しており、病気進行のため通院が困難になったときの在宅介護への橋渡しもしています。平成30年度の神経疾患の診断名は２０名以上に及び、パーキンソン病関連疾患、脳梗塞、筋委縮性側索硬化症が多く、多発性硬化症、重症筋無力症など極めて多彩でした。非神経疾患では尿路感染と肺炎が多く、山形大学からの受け入れも行いました。

充実した福利厚生

■ 改装された医局・研修医室の確保

平成30年に医局の全面改装を行いました。プライベート空間を重視し、席はすべて半個室になっています。医局はワンフロアのため、風通しが良く指導医に相談しやすい環境が整っています。また、研修医専用の空間も確保されているため、研修医同士の情報交換や休憩がとれるよう配慮されています。



■ 出産育児のサポート

当院は子育て応援企業として、県内病院で唯一の優秀(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ)企業として認定されており、育児支援も充実しています。これまでも妊娠・出産を経て研修を修了された研修医や現在も育児家事に奮闘しながら活躍されている女性医師もいます。又、職員全体で職場復帰支援、復帰過程の女性医師に対して育児支援などのサポートを行っています。
病院敷地内には、保育所や病児保育もあり、安心して研修に専念できる環境が整っています。

山形いきいき子育て応援企業
「優秀(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ)企業」認定



院内保育所

出産・育児のための休暇休業

男性
- 出産休暇(3日)
- 育児休業(1歳の誕生日前日まで)

女性
- 妊娠時間短縮勤務(始業就業それぞれ30分)
- 産前休暇8週間取得可能
- 育児休業(1歳の誕生日前日まで)
- 育児時短勤務(3歳の誕生日前日まで)

■ 暮らしのサポート・互助会制度の充実

病院敷地内に宿舎を完備。低額の自己負担が魅力で、多くの先輩職員が利用しています。また、山形県済生会には、相互扶助を基本理念とし、医療費・慶弔費等において追加給付を行う制度があります。給付の内容としては、医療費給付や慶弔祝金等給付(結婚・出産・永年勤続・香典・傷病見舞金等)があり、職員だけではなく、配偶者や扶養家族にも適用されます。

職員宿舎　ドミトリー済生

- 1DK　フローリング、バルコニー付き
- 月額　30,000円
  ※駐車場1台、上下水道代を含む
- 独身者に限る。山形市内在住者も利用可



医療費給付

外来診療（本人）
保健診療負担が3,000円を超えた額

入院診療（本人）
保健診療負担10,000円を超えた額

分娩（当院での分娩のみ）
出産一時金を控除した額

■ ほかにも嬉しい制度がいっぱい

学会・出張旅費助成あり

医師賠償責任保険加入(病院負担)

財形貯蓄制度・生命保険団体加入

職員の健康管理

- 各種がん検診
- 各種予防接種
- ＰＥＴ/ＣＴ検査
  (職員や配偶者は半額で利用可)
- 職員対象の「健康運動教室」

会員制ホテル　東京ビュックの利用

東京出張やプライベートでの旅行など家族での利用も可能

- 東京都中央区勝どき
  都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」より徒歩１分
- 格安な利用料金

オフィシャルスポンサー

モンテディオ山形（サッカー）
パスラボ山形ワイヴァンズ（バスケットボール）

☆スポンサー特典としてホームゲーム招待券をプレゼント！









イベント・クラブ活動

院内には10のクラブ活動やたくさんのイベントがあり、職種を超えた交流が盛んに行われています。
レジナビや済生会学会、年末に開催される大感謝祭など研修医の活躍する場がたくさんあります。

レジナビ仙台



ソフトボール部



済生会学会



サッカー部



花笠まつり



バスケ部



大感謝祭



登山部



周　辺　環　境

山形済生病院は、山形県の東南部にある山形市にあります。
治安が良く自然にも恵まれているため、暮らしやすい快適な環境が確保されています。
病院周辺の商業施設には、イオンやヨークベニマルのほか小型商店が点在しているため、生活必需品の買い物で困ることはありません。
近くには馬見ヶ崎川が流れており、春には川沿いに約200本の桜が咲き揃い、秋には山形で有名な日本一の芋煮会も開催されます。







交通情報

山形 — 6分 — 羽前千歳 — 1時間10分 — 仙台

最寄駅の羽前千歳から奥羽本線で山形駅まで6分、仙台駅まで1時間10分。その他、路線バスや病院のシャトルバスもあります。



交通機関のご案内

お車で　JR山形駅より15分
国道13号線大野目交差点より5分

列車で　JR羽前千歳駅下車　徒歩10分

バスで　シャトルバスをご利用ください。
路線バスの場合
「山交ビル・山形駅前～天童温泉・楯岡北町行き」
「千歳」バス停下車　徒歩10分



山形済生病院
キャラクター　なでりん

〒990-8545　山形県山形市沖町79番1
TEL　023-682-1111　　FAX　023-682-0122
URL http://www.ameria.org/
https://www.facebook.com/yamagata.saisei/